

大阪府歯科保険医協会 敬
 大 発 行 人 志 岐
 大 阪 市 浪 速 区 幸 町 1-2-33
 大 電 話 (06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可

4/5
 2007年 第940号
 (毎月5、15、25日発行)

おおさか医科 歯科九条の会 1周年を記念して講演会

人類レベルの平和目指す憲法は世界の宝

「おおさか医科・歯科九条の会」は結成1周年記念講演会を3月21日開き、府下の医療関係者ら135人が、日本国憲法存在意義や先駆性などについて学んだ。あらゆる立場の違いを超えて憲法9条を守るために、①当面は1000人の賛同者を目標に活動する②「対話のつどい」「文化行事」「九条の会講演会」などのイベントを開催する――などの行動提議を拍手で確認した。



「人類レベルで平和を規定したものは他国には見当たらない。憲法は世界の宝」と話す伊藤氏(右)と、9条を守る運動に確信を持つ参加者(左) = 3月21日、M&Dホール

司法試験塾を営み大学などで幅広く講師をする伊藤真氏(法学館憲法研)が「護憲を論じる前に」

と題して記念講演した。伊藤氏は、「憲法99条では、天皇または摂政及び国務大臣、国會議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」としている。憲法を守る義務があるのは、国會議員などの公務員である。国民に憲法を守る義務はなく、国會議員に守らせる義務がある。「改憲論議は、政治家側から出てくるのか国民の側から出てくるのか180度、意味が違う。政治家側から出た場合は自分たちがより自由になることとするものだ」と指摘した。

また、多くの人が「軍隊は国民の生命を守ってくれる」と思っているが、元自衛隊の幕僚長・栗栖弘臣氏の著書『日本国防軍を創設せよ』から「今でも自衛隊は国民の生命、財産を守るものである」と誤解している人が多い。しかし国民の生命、身体、財産、を守るのは警察の仕事であって、武装集団たる自衛隊の任務ではない」と引用し、軍隊の本質を話した。同氏は、自分の好きなフレーズとして日本国憲法の前文を挙げ、「前文では、自国だけでなく全世界の国民の平和のうちに生きる権利まで規定している。そのような人類レベルでの平和・安全を、生存権を規定した憲法は他国には見当たらない、世界の宝である」と述べた。

「より良く食べるはより良く生きる」勉強会や健康教室向けの好著

保団連は「より良く生きる」健康づくりの基本の一つが「より良く食べる」ことにあることを市民に知ってもらおうと、「より良く食べるはより良く生きる」(B5判24項カラー)を発行した。協会では会員に活用してもらうため、10部を無料で4月中旬に届ける。



保団連発行のこの冊子は、研究者や専門家の協力を得て、その内容の独自性と表現の理解しやすさ、科学的根拠に基づいた具体的な事例を通じて「より良く食べる」の大切さを語りかけている。全部で11章から構成され、8章見直されている腸管粘膜からの栄養補給と9章「栄養サポート

チームが『より良く食べる』を生かすは全般的な病気のために、摂食・嚥下ができない方への対応の仕方である。その他の

協会・保団連 厚労省の見解質す 文書提供・マイナス改定是正など



要請に取り組む吉田理事(右端)と、矢部理事(右中) = 3月22日、厚労省

る。世界の最先端をいった憲法を後退させるわけにはいかない」と強く訴えた。

国民投票法案 慎重審議求め要請 憲法調査特別委員へ 協会
 国民投票法案は、実質的に国民から憲法改正の権限を奪い、改憲を容易にするものである。国民多数も今国会での成立を望んでいない。協会は、同法について今国会で拙速に成立させるのではなく、国民や専門家などさまざまな意見を聞く時間を十分に取った上で、慎重に審議を進めるよう衆参の憲法調査特別委員会の各議員に3月20日、ファクスで要請した。

協会の吉田裕志理事・社保研究部長と矢部あづさ理事は3月22日、厚労省に対して文書提供の算定要件の是正、改定率を下回るマイナス改定の是正、歯科疾患総合指導料の廃止などを求めた。要請では、保団連の宇佐美宏歯科代表・秋山和雄・竹田正史・馬場淳副会長とともに厚労省の見解を質した。厚労省からは田口保険局医療課課長補佐、福泉特別医療指導監査官が

応対した。文書提供問題では、訪問診療時に4〜5種類も出すような不合理を例示したことに對して、一定の理解を示しながらも「(大臣)告示である以上重みがある」と述べ、担当官の裁量を超えた問題で今すぐには対応できないとした。また、協会・保団連から指摘した①文書提供に関する中医協の調査は、月半ばに実施したため文書提供した患者数や文書作成時間が日歯や保険医協会の調査結果の半分程度になり不正確②患者調査結果では、一つの健保組合だけが対象で男女比や年齢層の偏りがある――などは中医協に反映したいと述べた。



4月中旬にお届け予定の「より良く食べるはより良く生きる」

章は、摂食・咀嚼・嚥下機能に問題がないか、あるいはそれがあっても軽症の方を対象にしている。歯科医療関係者にとって、ごくあたりまえから目からうろこの情報を提供していると言える。ところで、最近の日本人の「より良く食べる」に大きな問題が持ち上がっている。一つは口腔の有病率がある一方、治療費の患者負担増大のために受診率はむしろ減少している。二つ目は、ワーキングプアに象徴されるように、まともな家庭生活、食生活の破壊の進展である。「食育」のスローガンに「早寝、早起き、朝ご飯」とある。これはとりもなおさず、現在の子どもたちの生活の貧困を反映している。経済格差に由来する、医療難民や食生活難民を私

たちは看過するわけにはいかない。口の中から社会を絶えず見る視点は堅持すべきではないだろうか。この冊子は、そのことを声高には表現していないが、それらを示唆する内容になっている。院内では、スタッフや

患者との勉強会に、院外では住民との各種健康教室でご利用いただいた。筆者もこの4月26日の堺市老人クラブ校区会長・クラブ会長450人の研修会を皮切りに、食生活改善推進協議会、「8020xmit」「歯周病講座」などの健康教室で活用する予定である。会員の皆さんからも、この冊子の活用時の反響や問題点などの情報を提供していただきたい。私たち「より良く生きる」のために「連携」しよう。

悪化はもう許せない。

受診者サイドからだけでなく健康な国民全体としても一歩前進三歩後退で生活を圧迫された。医療現場は朝令暮改で混乱させられ続けた。現場と乖離し世界に類の無い摩訶不思議なルールで医者患者から顔を背けパソコンにはりつけさせ、弱い者いじめを正当化し貧乏人と病人には同情心のかけらもない制度悪化はもう許せない。

PR増刷号

今号はPR版として大阪府下の全歯科開業医にお送りしています。ご入会、協会の概要についてはお気軽にご連絡下さい。この新聞を送るに際し、社会保険事務局・各種名簿などにより情報取得致しました。この情報は、ご入会や講習会、各種共済制度のご案内、新聞の送付以外に利用することはありません。「今後の郵送を断る」などの申し出があれば、事務局までご連絡ください。《ご連絡・お問い合わせは組織部まで》

歯界

過去の日本の保険医療制度は労働力確保という主な狙いはあるにせよ、世界に誇れる相互扶助と福祉の具現体だった。その名残りはまだある。だが、その多くの部分は献身的な医者とその家族の自己犠牲で維持されてきた。現在のこの制度が加速的に改悪され続け危機にあるのは、医療担当者の倫理感が薄れたからでも国民が我がままになったからでもない。アメリカで矛盾を大きくしている何でも自由競争を是とする単一原理を、短絡的に日本に押し付けるための制度改悪の連続であった。受診者サイドからだけでなく健康な国民全体としても一歩前進三歩後退で生活を圧迫された。医療現場は朝令暮改で混乱させられ続けた。現場と乖離し世界に類の無い摩訶不思議なルールで医者患者から顔を背けパソコンにはりつけさせ、弱い者いじめを正当化し貧乏人と病人には同情心のかけらもない制度悪化はもう許せない。